

学校経営の方針



「子どもたちが楽しく学び、いきいきと安全に活動する学校」
「保護者に信頼され、安心して子どもを通わせられる学校」
「地域にかかわり、協力して子どもを育てることができる学校」
を経営目標にして、学校の教育目標との関連を図りながら具現化に努める。

教育目標

根気よく学び、工夫する子ども

- 各教科等の年間指導時数を確保するとともに指導・評価計画の工夫・改善に努め、児童一人一人の自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の資質・能力を育成し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- 総合的な学習の時間を通して、学び方やものの考え方を身につけさせ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を培い、自己の生き方を考えることができる資質や能力を育成する。



思いやりがあり、助け合う子ども



- 小規模校の特性を生かし、きめ細かな指導を行い、児童一人一人の個性・能力を伸ばすとともに、道徳的実践力の育成に努める。
- 八丈島の歴史、自然、文化の教材を積極的に取り入れ、我が国の文化や伝統への関心や理解を深めるとともに、国際感覚を高め、国際社会に生きて働く資質や能力を培う。
- 教育活動全体をとおして、あらゆる偏見と差別・いじめをなくし、「人間理解」を根底にした教育活動を徹底させるとともに、望ましい人間関係の育成に努める。

すすんで身体をきたえる子ども

- すすんで心身の健康に関心を持ち、正しい知識を身につけ、自らの健康の増進と体力の増強を図ろうとする態度を育てる。
- 家庭や地域社会との連携をより深め、豊かな人間性とたくましい体をはぐくみ、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。



各教科



各教科等の指導・評価計画の工夫・改善に努め、児童一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、児童の学習に対する興味・関心を高め、情報活用能力を養い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
小規模校の特性を生かし、異学年合同授業の中でのチームティーチング、一部教科担任制等を進め、指導の個別化を図り、児童一人一人の個性、能力、適性をいかした教育を推進する。

道徳

道徳教育全体計画を基盤として、人間尊重の精神や自然・生命に対する畏敬の念を培い、集団や社会にかかわりながら他を思いやる豊かな心や規範意識を育てる。
教師と児童、児童相互の人間関係を深めるとともに、日常の体験を踏まえた、心を揺さぶる授業の創造に努め、各教科との関連を図り、児童の内面に根ざした道徳性を養う。
広く地域とも連絡・情報の交換を密にし、地域の方々の参加協力により、道徳教育の一層の充実を図る。



特別活動

- ①小規模校の特性を生かし、子ども一人一人の意欲を引き出し、集団の一員としての自覚と、相互に協力し合っていく心情を育てる。
勤労生産活動や奉仕活動を充実させ、自ら進んで行動できる子どもの育成を努める。



総合的な学習の時間

体験的な学習を通し、自ら生まれ育った末吉を知り、八丈島を学ぶ。
地域素材の活用に努め、文化・伝統・自然に親しむ心を培う。
国際理解、環境、情報、福祉・健康等の横断的・総合的な課題の中から児童自らが課題を選択し、問題解決していく活動を通して、各教科の基礎基本的な内容がさらに定着するように努める。



特色ある教育活動

恵まれた自然や社会環境を生かし、栽培活動・海浜学習・小遠泳・高齢者福祉施設との交流等の体験的学習を教育課程に位置付けて、自ら学び自ら考え表現できる力を培う。
異年齢集団の活動を継続的に計画し学校行事や集会活動を通して児童の社会性の育成に努める。
「朝の十分間読書」等を推進し、児童が進んで読書を行う態度を培う。
生まれ育った地域の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる心を培う。



生活指導



生活指導上の課題について話し合う場や機会を多く設定し、学校全体で指導の充実を図り、お互いの生命を大切にし、人格を尊重し合える心、意欲的に行動できる能力や態度を育成する。
一人一人の児童に対する理解を深め、教育相談員やスクールカウンセラー等の外部専門機関との連携を図りながら児童の社会性や自立心の育成を図る。
家庭、地域社会との連携を密にし、健全な食習慣を形成し、事故や犯罪被害等を未然に防止するため、セーフティ教室等の健康・安全教育を推進するとともに、迅速かつ適切な指導のもと、児童の健全育成を図る。

進路指導

近隣の教育施設・諸団体等との連携や交流を図り、地域からの情報も進んで求める中で、児童が将来への夢と希望を持てるようにする
児童一人一人の個性を重視し、自己の適性や生き方が考えられる指導に努め、物事に進んで取り組む意欲と態度を身につけさせる。